

まえがき

私たち日本人は太古から、どのような場所にもどのような物にも神は存在していると、八百万の神を信じている民族です。八百万「やおよろず」とは「とてもたくさん」という意味です。森羅万象、宇宙自然のすべて、空間のそこかしこに神は存在するというのが日本人の神という存在に対する考え方、ひいては、イワシの頭にも神は宿るといわれてきたものです。祈りを捧げたものに神は宿ると考えられてきました。

「神道」は古代日本の民族信仰を言いますが、神道そのものの概念は実は不明確ともいえるのです。もちろん、祖先崇拜、自然崇拜、皇室祭祀につながるものという説はそれぞれ間違いはありません。しかし、時代によって性質が違ふ文献が多岐にわたっていること、また、さまざまな種類があることによりいまだ明確な意図が明らかになりにくく、とらえどころなく感じる部分があります。

とはいえ、日本人の心の中に確かに息づいている感覚はどこからくるのでしょうか。教典も像もない神

道ですが、たとえばふと見上げた空に、たとえば雨上がりの木々の葉に神を感じるという感覚は、日本民族の根、DNAに脈々と受け継がれているものではないでしょうか。

人間は自分の力で心臓を動かしているわけではありません。食べたものが身体に吸収され不要なものが出ていくというシステムは大いなる神秘の力によって我々の身体の中に存在しています。そしてこの地球で生かされ、人としての営みを日々行っていることに感謝し、畏れ、そして敬うものが「神様」なのだと思います。

今、各地で神社の御朱印集めがブームになっていますね。神社仏閣巡りを始められたばかりの方もいらつしやるでしょう。

この本では、神社巡り初心者の方に向けて、神社に関するさまざまな豆知識をお届けします。

古事記、日本書紀からよく知られ親しまれているヤマトタケルまでの神話をサクッとご紹介し、神社の成り立ちやお詣りのしかたなどの豆知識をご案内していきます。

神社をお詣りすることは、日本人の心の中にある神聖な部分に触れ、神様に日頃の無事息災を感謝し、邪気を祓い清い氣をまもって日々を心明るく楽しく過ごす開運行動に他なりません。

単なる御朱印集めにおさまらず、この豆知識とともにお詣りして運を開いていただけましたら幸いです。